

いもいなあ ドローン導入した農薬散布作業



Drone

わずか10分ほどで1haの圃場を散布できるドローン

- | | | |
|-------|----------------|--------------|
| ・資格必要 | 技能認定資格者 | 講習費用228,000円 |
| ・機体販売 | 1,942,000円(税別) | |
| ・検査費用 | 毎年発生 | |

スマート農業勉強会(2月27日)京都府農林水産技術センター

(1)「生産現場におけるICT活動事例～水稲編～」(2)「生産現場におけるICT活動事例～野菜編～」2本の講演を聞いてきました。(1)「生産現場におけるICT活動事例～水稲編～」では、コシヒカリ圃場の水管理の事例でした。(2)「生産現場におけるICT活動事例～野菜編～」では、万願寺トウガラシのハウス栽培の温度管理でした。何れも、監視装置と通信回線とスマホ(パソコン)を利用して、監視作業の効率化をされたものでした。

京丹波ほたるの里で「スマート農業」を取り入れるとしたら、農業用ドローンを利用した農薬散布、圃場の監視業務が魅力的であると感じました。上記に示すとおり、高価なものであり、農業収入との比較も考えて行かなければなりません。又、ドローン捜査に資格も必要とのことであり、資格を取得する人は、パソコン、スマホのあたりに手慣れた若者が最適と言うのも耳にしています。近代化農業を見だすためには、若い人の参入を欠かせない。若い農業者が楽しく作業できる環境づくりの一つとして農業用ドローン採用を検討してみたいと思っております。

美しいふるさとをみんなの力で守っていこう!